

WHO ファクトシート

食物媒介吸虫症

Foodborne trematodiasis

2017年4月

重要な事実

- ・食物媒介吸虫症による障害や死亡により失われる健康寿命年数 (life years lost) は、世界中で毎年 200 万年に及ぶ。
- ・人々は、寄生虫の幼虫が住み着いている生魚、甲殻類(えび、蟹など)や野菜を食べることによって感染する。
- ・食物媒介吸虫症は、東アジア、南アメリカで最も流行している。
- ・食物媒介吸虫症は、重症の肝臓疾患、肺疾患を引き起こす。
- ・食物媒介吸虫症の予防と治療には、安全で有効な医薬品がある。
- ・食物媒介吸虫症の予防と制御には、人畜及び生態系インターフェースにおける専門分野を横断した協力が必要とされる。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Foodborne trematodiasis ファクトシート原文は [こちら](#)